

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-71	中学校	外国語	英語	第1学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17教出	英語017-72	<b>ONE WORLD English Course 1</b>		

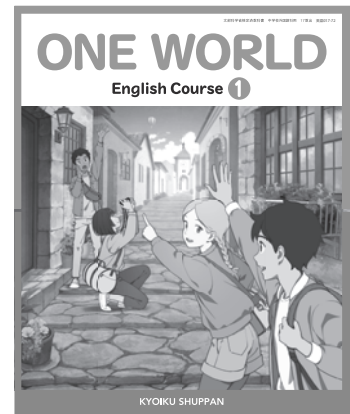
## 1. 編修の基本方針

### 「学びのチカラで人と社会を未来へつなぐ」

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。  
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。

#### 英語を使って、世界で生きていく

- 「人と人の『輪』をつなぐ、コミュニケーションツールとしての英語」
  - 「平『和』なグローバル社会を築くための英語」
  - 「調『和』を大切にしながら、世界で活躍する人材になるための英語」
- 3つの『わ』を実現するための英語、この教科書で身に付けていきます。



#### 特色 1

### 実際のコミュニケーションに使える英語の力をつける

- ▶ 明確な目標を意識しながら、見通しをもって学び進めることができます。
- ▶ 4技能5領域をバランスよく身に付け、コミュニケーションツールとしての英語の力を伸ばします。

#### 特色 2

### 主体的に学び、考え、伝え合う

- ▶ 生徒の学習意欲を高める題材・活動で、主体的に学ぶ姿勢を育てます。
- ▶ 身に付けた知識・技能を横断的に活用する機会を数多く設け、思考力・判断力・表現力等を養います。

#### 特色 3

### デジタルコンテンツで英語の学びを支える

- ▶ 二次元コードや学習者用デジタル教科書から豊富な音声や動画にアクセスでき、いつでもどこでも繰り返し英語にふれることができます。
- ▶ デジタルコンテンツを活用することで、英語に慣れ親しみ、理解を深め、もっと「知りたい」「学びたい」という意欲に応え、個別最適な学びを実現します。

# 特色 1

## 実際のコミュニケーションに使える英語の力をつける

### ① 見通しをもって学ぶ

単元の扉で (1) 「内容理解の目標」、(2) 「活動の目標」を示してあるので、単元末まで見通しをもって学ぶことができます。

目標を意識しながら学び進め、単元末のふり返りで達成度を確認する、主体的に学ぶサイクルになっています。



Lesson 5 扉 (p. 77)



Lesson 5 Task (p. 84)

**Goal** 内容理解 日本とオーストラリアの学校の生徒の過ごし方を理解する。  
**活動** クラスメートがしていることを表現することができる。

**Lesson 5** ふり返ろう! どれくらい達成できたか、右側のマークを選んでみよう。  
**Goal** 内容理解 日本とオーストラリアの学校の生徒の過ごし方を理解する。  
**活動** クラスメートがしていることを表現することができる。



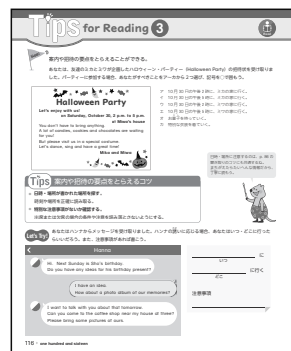
Can-Do 自己チェックリスト (後見返し)

**【Can-Do 自己チェックリスト】**  
 4技能5領域それぞれの学習到達目標を提示しています。当該学年以外の目標も掲載しているので、学年末のふり返りだけでなく、3年間の学習の見通しを立てる際にもご活用いただけます。

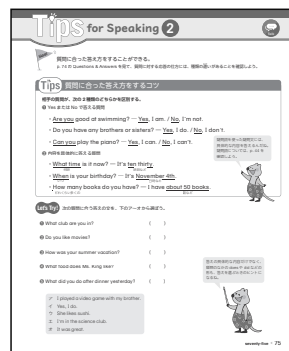
### ② 4技能5領域の力が身に付く



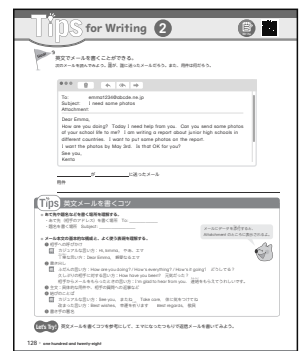
Tips for Listening (p. 86)



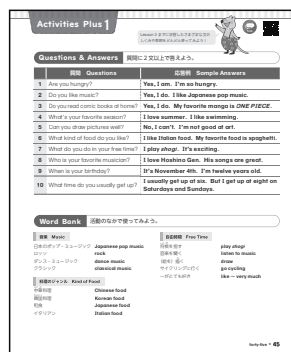
Tips for Reading (p. 116)



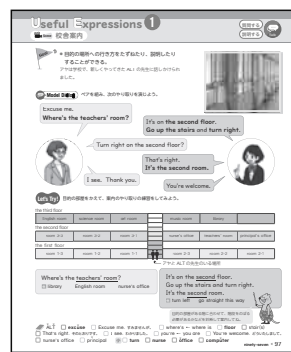
Tips for Speaking (p. 75)



Tips for Writing (p. 128)



Activities Plus (p. 45)



Useful Expressions (p. 97)

単元以外でも、4技能5領域の力を養う活動に取り組むことで、コミュニケーションツールとしての英語の力をバランスよく伸ばします。

# 特色 2

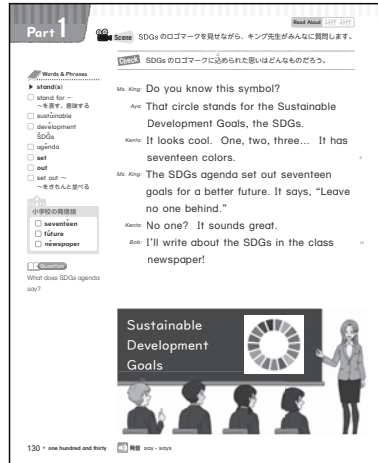
## 主体的に学び、考え、伝え合う

### ① 多様な題材を通して学ぶ

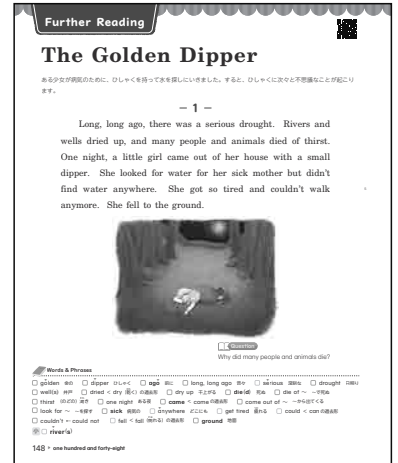
日常生活から社会的なテーマまで、多様な題材をもとに考える機会が用意されており、主体的に学ぶ姿勢を育てます。



ピクトグラムについて (p. 105)



SDGsについて (p. 130)



北斗七星のおとぎ話 (p. 148)

### ② 技能を組み合わせ、統合的に学ぶ

単元に関連したテーマで、楽しみながら思考し、発表ややり取りなどの活動につなげます。



Project 1 (pp. 70~71)



技能を示すアイコン

複数の単元を通して学んできた知識や技能を横断的に活用して、主体的・対話的で深い学びを実現します。

### ③ 思考力・判断力・表現力等が身に付く

単元の題材に関連した、話す(やり取り、発表)・書く活動を通して、英語で考え、表現する経験を積み重ねていきます。



Lesson 9 Part 1 Think & Try! (p. 131)



巻末掲載：Think & Try! 活動例 (p. 161)



巻末の「Think & Try! 活動例」を参考にすることで、主体的に自分の考えを表現するためのイメージをもつことができます。

# 特色 3

## デジタルコンテンツで英語の学びを支える

### ① 音声や動画などの豊富なコンテンツに繰り返しアクセスできる

各ページにある二次元コードから「まなびリンク」にアクセスし、音声を聞いたり、動画を見たりすることができます。学習者用デジタル教科書とともに、学びを確かなものにします。



「まなびリンク」のURL

「まなびリンク」は、学習に役立つ素材を集めた、安心できる当社のウェブページです。



学習者用デジタル教科書画面の例

### ② 一斉授業だけではない、多様な学びを支援する

#### 協働学習で

**Task**

1. アヤが北海道の観光ガイドマップをつくりました。本文を読み返して、\_\_\_\_に語彙を書こう。

2. あなたは、北海道旅行をすることになりました。楽しい旅行になるよう、1を参考にして理想の計画を立てて発表しよう。

**My Dream Plan in Hokkaido**

I'm going to visit Sapporo in Hokkaido. After that, I'm going to visit Asahiyama Zoo in Asahikawa. I want to see penguins there.

Lesson 8 (まなびリンク) と同じくらい速く読むことができ、右側のマークをタップすることで、本文を拡大して読むことができます。

Lesson 8 Task (p. 124)

Lesson 8

**Task**

2. あなたは、北海道旅行をすることになりました。楽しい旅行になるよう、1を参考にして理想の計画を立てて発表しよう。

**My Dream Plan in Hokkaido**

I'm going to visit Sapporo. After that, I'm going to visit Asahiyama Zoo in Asahikawa. I want to see penguins there.

行きたい場所や観光地を自由に書き込んで、お気に入りの場所を選んで発表してみよう。

**My Dream Plan in Hokkaido**

#### 個別／家庭学習で

**Grammar** Lesson 9 で学んだ文法

How to Use

1. 「-そうに見える / 聞こえる」と述べるとき

Taro **looks** sleepy.

Let's go to Yokohama and have a picnic.

— That **sounds** nice.

2. 「-にがある (ある)」と伝えるとき

**There is** a hospital near my house.

**There are** two libraries in this city.

3. 「-に-はありますか」 「-に-はいくつありますか」

**Is there** an air conditioner in the room?

**How many boys** are there in your class?

**How many libraries** are there in this city?

**Is there** an air conditioner in the room?

**How many malls** are there in your city?

**There are** three malls in my city.

**Three!** That sounds great!

Lesson 9 Grammar (p. 137)

「まなびリンク」からダウンロードできるワークシートにメモしたり、作文したりしたことを共有することで、さらに学び合いを活性化させます。

単元内の各パートで学習した Key Sentences (基本文) を、会話の場面ではどのように使うのかをいつでも動画で確かめ、練習することで、英語で表現するための基礎力を身に付けます。

#### 個別／家庭学習で

Part 2 Lesson 5-2

ビデオ画面で、日本のアヤとオーストラリアのケビン (Kevin) が話しています。

Aya: Now we're having a 20-minute break after lunch.  
My classmates are doing different things.  
Kevin: Is someone singing?  
Aya: Yes.  
Some girls are practicing for our chorus contest.  
We compete for a prize.

学習者用デジタル教科書では、本文のハイライト表示や読み上げ速度の変更が可能です。自学自習にも活用しやすく、個別最適な学びに応えます。



## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Springboard 1~6	小学校で学習した表現や語彙を音声や文字でふり返り、友達とやり取りしたり、書いたりすることを通して、幅広い知識と教養を身に付ける態度を養う。【第1号】	pp. 6~17
Lesson 1~9の題材	①: Hello, New Friends...互いに自己紹介し合う活動を通して、個人の価値を尊重し、自他を敬愛する態度を養う。【第2号】	pp. 21~32
	②: Talking with Friends...相手のことをよく知るために質問し合うことを通して、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養う。【第2号】	pp. 33~44
	③: Club Activities...クラブ活動で何をしたかについての日記や会話を通して、個人の能力を伸ばし、創造性を培う。【第2号】	pp. 47~57
	④: My Favorite Things...お気に入りの人やものの紹介や、家族の仕事や家事についての話題を通して、個人の価値を尊重し、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う。【第2号】	pp. 59~69
	⑤: School Life in Two Countries...海外と日本の学校生活の違いを通して、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、協力を重んじて主体的に社会の形成に参画する態度を養い、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。【第5号】	pp. 77~85
	⑥: Lunch in Chinatown...友達とのグループ行動を通して、豊かな情操と道徳心を培うとともに、公共の精神を養う。【第3号】	pp. 87~95
	⑦: Symbols and Signs...記号や標識、ピクトグラムについて学ぶことにより、幅広い知識と教養を身に付け、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。【第3号】	pp. 99~107
	⑧: Holiday in Hokkaido...北海道・豊頃町のジュエリーアイスと釧路湿原のタンチョウを題材に、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度や、我が国と郷土を愛する態度を養う。【第4号、第5号】	pp. 117~125
	⑨: A Better World for Everybody...SDGsやリサイクルについての文章を読んで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うとともに、正義と責任を重んずる態度を培う。【第1号、第3号】	pp. 129~137
Lesson内の構成	扉ページに掲げた「内容理解」と「活動」のGoalを達成できるように、Part 1~3、Task、Grammarが構成されている。Part 1~2のThink & Try!及びPart 3のRead & Try!は本文を活用した自己表現機会となっており、Taskでは自己表現を含むかたちでLessonをふり返る。Grammarでは、コミュニケーションを円滑にするための素材として言語材料が整理されている。Lessonを通して幅広い知識と教養を身に付けるとともに、創造性を培う。【第1号、第2号】	各Lesson
Project 1, 2, 3	伝えたい、話し合ってもっと理解を深めたいと思わせるような言語活動が充実している。	各Project
	①: My Favorite Person...お気に入りの人物について表現する活動を通して、個人の価値を尊重し、創造性を培う。【第2号】	pp. 70~73
	②: My Original Sign...自分で新しい標識を考え発表する活動を通して、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う。同時に、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。【第2号】	pp. 110~111
Reading 1, 2, Further Reading	③: Take Action for a Better World...SDGs達成のために、自分にできることを考えてまとめ、表現することを通して、自主及び自律の精神を養うと同時に、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。【第2号、第3号】	pp. 142~143
	①: Fox and Tiger...寓話を読んで、豊かな情操と道徳心を培うとともに、自他の敬愛と協力を重んずる気持ちを育む。【第1号、第3号】	pp. 112~115
	②: An Old Woman and a Dog...短い笑話を読んで、豊かな情操と道徳心を培う。【第1号】	pp. 144~147
Tips for Listening / Reading / Speaking / Writing	FR: The Golden Dipper...物語を鑑賞し、教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培う。【第1号】	pp. 148~151
	5つの領域に関わる言語の使用場面や動きを踏まえたコミュニケーション活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操を培う。【第2号】	pp. 46, 58, 75, 86, 96, 98, 109, 116, 127, 128, 141
Activities Plus	学んだ表現や言語材料を自由に活用できるQ&A。常活動などでの友達との会話を通して定着を図るとともに、自主及び自律の精神を養う。【第2号】	pp. 45, 74, 108, 140
Useful Expressions	①校舎内の案内と②体調不良の相手とのやり取りを通して、自主及び自律の精神を養う。【第2号】	pp. 97, 139
How to Study, 効果的な英語学習法	生涯にわたって学習する基盤づくりのため、主体的に学びに向かう態度を養うことができるよう、自主及び自律の精神を養う。【第2号】	pp. 20, 152
二次元コード	二次元コードが各所に掲載されており、①LessonやReading, Further Readingの本文音声、②Words & Phrasesのワークシート、③書き込みコーナー用ワークシート、④GrammarのLet's Useコーナー用動画、⑤Activities Plus等の音声、の各要素を授業中でも家庭学習でも利用することができ、自主及び自律の精神を養う。【第2号】	Lesson等の各ページ
付録、巻末資料	辞書の使い方、重要構文復習リスト、Think & Try!活動例、分野別用語集など、生徒の自律的な学びを支える付録・巻末資料を配置した。【第2号】	pp. 4, 18~20, 138, 154~後見返し

## 3. 上記の記載以外に特に意を用いた点や特色

### 学習を支えるさまざまな配慮

専門家による校閲を受け、人権を尊重し、全ての人にとっての学びを保障する「ユニバーサルデザイン」の観点に立って編修しました。

#### 人権教育

社会の多様性を踏まえ、人権を尊重し、あらゆる差別をなくすため、イラストを含め表現や活動に配慮しました。

#### 特別支援教育

シンプルな紙面構成と単元構成で、学習内容がわかりやすくなるように配慮しました。

#### カラーユニバーサルデザイン

色覚の個人差を問わず、識別しやすい配色を用い、だれにとっても学習しやすい紙面になるように配慮しました。

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-71	中学校	外国語	英語	第1学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17教出	英語017-72	<b>ONE WORLD English Course 1</b>		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### 特色 1

実際のコミュニケーションに使える英語の力をつける

### シンプルで学びやすい構成で力を養う

シンプルな紙面と単元構成で、4技能5領域の力をバランスよく身に付け、思考力・判断力・表現力等を段階的に養います。単元をいくつか学習した後は、積み上げた力を積極的に活用できる活動で、さらに力を磨きます。

**扉**

↓ 単元の目標を捉える

**Part 1&2**

↓ 基礎的な知識・技能の習得

**Part 3**

↓ 読むことに重点を置いた活動

**Task / Grammar**

学んだ知識・技能の活用やまとめ、ふり返し

↓

**Project** 学んできた知識・技能を活用しつつ、5領域の力を統合的に活用

各単元の構成・流れは一定です。  
(1年 Lesson 1, 2 は一部異なります。)


**Key Sentences**

**Tool Kit**

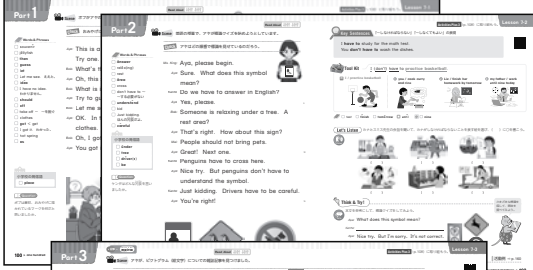

**Let's Listen**

**Think & Try!**

**Read & Try!**



Lesson 7 (pp. 99~107)

Project 2 (pp. 110~111)

## 特色 2

## 主体的に学び、考え、伝え合う

基礎を確実に身に付けたうえで、自分の考えを発信する



Key Sentences / Tool Kit の例 (p. 49)



Let's Listen の例 (p. 121)

単元で学習する基本文を確認・練習します。

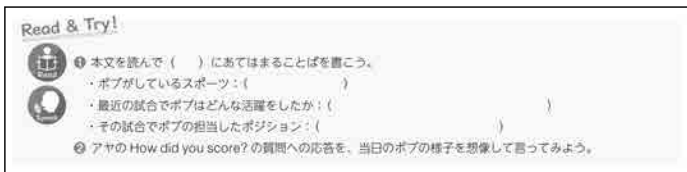
音声聞いて、基本文の使い方を定着させます。



Think & Try! の例 (p. 51)

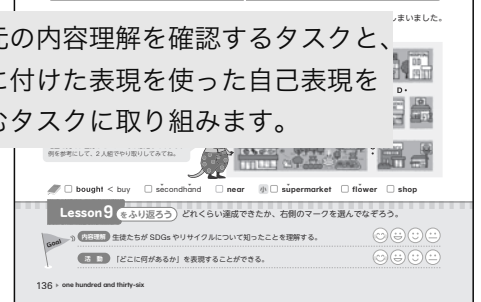


単元の内容理解を確認するタスクと、身に付けた表現を使った自己表現を含むタスクに取り組みます。



Read & Try! の例 (p. 53)

単元の題材をもとにして、自分の考えを発表したり、伝え合ったりします。



Task の例 (p. 136)

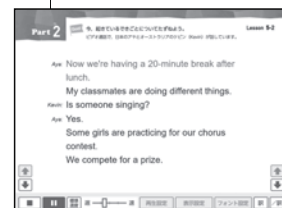
## 特色 3

## デジタルコンテンツで英語の学びを支える

豊富なコンテンツで、さまざまな場面での学習を支援する

	コンテンツ	学習場面
まなびリンク	本文音声、Tips for Listening及びProjectの活動用音声 帯教材 (Activities Plus) 音声 活動記入用ワークシート、語句練習用ワークシート 文法動画 (Grammar ページのLet's Use)	個別／家庭学習で 個別／家庭学習で 協働／家庭学習で 個別／家庭学習で
学習者用 デジタル教科書	本文の音声＋文字表示 (速度調整＋ハイライト表示) Words & Phrases 音声	個別／家庭学習で

さまざまな学習場面で活用できるデジタルコンテンツで、個別最適な学び、協働的な学びに応えます。





## 検討の観点と内容の特色

観点	内容の特色
<b>1. 内容の取扱い</b>	
教育基本法との関連	教育基本法第2条（第1号～第5号）を踏まえ、教材を選定・開発しています。（「教育基本法との対照表」p.5参照）
学習指導要領に示された教科の目標を達成するための配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コミュニケーション能力の育成を目指し、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の5つの領域別に設定された目標をそれぞれ達成できるように内容を選択・配列しています。また、実際の使用に即した場面設定、興味を喚起する話題、他者と関わりながら進めていく活動を豊富に配置し、「コミュニケーションを図る資質・能力を育成」できるように内容を選択・配列しています。</li> <li>●資質・能力の3つの柱である「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」を総合的に育成できるように、英語で意思や情報を伝え合う対話的な活動や協働して問題解決に当たる活動を盛り込み、生徒一人一人の「生きる力」の育成に寄与し、「主体的・対話的で深い学び」を実現できるように工夫しています。</li> </ul>
自主的・自発的な学習への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●巻頭に教科書への導入としてWelcome to ONE WORLD English Courseを設け、「中学校を卒業するまでの目標や、将来なりたい姿を書いてみよう。」の欄に自由に書き込ませることにより、英語学習や英語を通じたコミュニケーションへの期待と、生徒一人一人の学習意欲を喚起する仕組みを設けています。</li> <li>●Lessonの冒頭で単元の目標をCAN-DO記述文のかたちで示すことにより、当該Lessonの学習が終わった時点でできるようになっている姿をあらかじめイメージし、それを意識しつつ授業に臨み、最後に自己評価ができるように工夫しています。「Lesson〇をふり返ろう」でも目標を再掲し、「資質・能力」に基づくふり返りの観点を示し、どの程度達成できたか、生徒自身が評価できるようになっています。</li> <li>●「英語の書き方のルール」や「辞書の使い方」、「効果的な英語学習法」ページを設け、自主的な学習をスムーズに行うためのアドバイスを掲載しているほか、さまざまな自己表現活動に役立つ語彙「分野別用語集」を巻末に掲載し、必要に応じて参照できるように構成しています。</li> </ul>
<b>2. 内容の程度</b>	
小学校外国語科との接続に配慮した内容	●小学校の外国語活動で行ったコミュニケーション活動について、Springboard 1～6でふり返りができるようにしています。Lesson 1～Lesson 3 Part 1までの早期段階で小学校で学習した表現や文型、文法事項を再び扱うことで、基本的な表現を確実に定着できるように構成し、中学校で学ぶ言語材料を導入する前のふり返りの場として整理しています。
生徒の発達段階に適した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●年間を通して、言語材料・言語活動のそれぞれについて、発達段階に適した内容を選択し、配列しています。</li> <li>●各Lessonの題材内容については、生徒の発達の段階、興味・関心に配慮し、クラス内での自己紹介から、学校や地域、国内、海外へとさまざまな分野について、徐々に視点が広がっていくように構成しています。</li> </ul>
言語材料の取り上げ方	<ul style="list-style-type: none"> <li>●言語材料は、基本的な「音声」、「文字及び符号」、「語、連語及び慣用表現」、「文、文構造及び文法事項」を丁寧に取り上げ、学習の進捗や言語活動との関連を踏まえて、バランスよく、段階的に配置しています。語、連語及び慣用表現については、自己表現活動に使えるように、中学生にとって身近なものを選定しています。</li> <li>●各言語材料はコミュニケーションを支えるためにあるものとして、どのような目的や場面、状況で使われるかを生徒が理解できるように、Sceneとして示しています。</li> </ul>
基本文、文法解説、語彙の取り上げ方	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Lesson各Partには、本文に登場した重要な文構造や文法事項の典型例をKey Sentenceとして掲げ、Lesson末のGrammar内、How to Useコーナーで丁寧な解説とともにまとめて整理しています。その基本文を含む対話例をLet's Useとして掲載し、部分置き替えて対話練習する機会を設けています。</li> <li>●各基本文の定着を図るため、各PartにTool Kitとして置き替え練習を設け、当該の文法事項を含む比較的容易なリスニング活動Let's Listenも設けています。</li> <li>●語彙は、本文中及びTool Kit、Taskページ等に登場した新出語をWords &amp; Phrasesとして掲げ、「発信語」は太字で示されています。小学校既習扱いの重要語については「小学校の発信語」として併記し、定着させられるように工夫しています。</li> </ul>
言語活動の取り上げ方	●「知識及び技能」を活用して「思考力・判断力・表現力等」を身に付けるための具体的な言語活動となるよう、また生徒自身の興味・関心や経験等を発信できるように、Think & Try!, Read & Try!, Task, Project等の各コーナーに言語活動を適切に配列しています。
生徒の興味・関心に即した題材内容	●主体的な学びを促進し、対話的な学びへと導くため、生徒の興味・関心に合った題材をLesson本文及び活動やProjectの活動の題材として設定しています。
他教科、道徳等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Lesson 1 Grammarで日本語の文との語順の対比、「効果的な英語学習法」ではカタカナ語と英語の違いに注目するなど、国語科との関連を図っています。</li> <li>●他教科とのつながりがある題材を多くの単元で取り上げています。例。Lesson 7 (社会、道徳)、Lesson 8 (理科)、Lesson 9 (社会、道徳)</li> </ul>
高等学校との接続	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新出文法事項は3年Lesson 5までに扱い終える仕組みになっており、高校入試までに定着を図る期間を十分に確保することができます。</li> <li>●Tips for Listening / Reading / Speaking / Writingで、さまざまなコツを習得していくことで、高校からの英語学習にも役立つ基礎を身に付けることができます。</li> <li>●Reading及びFurther Readingの読み物の語数は、学年が進むにつれて段階的に増加し、約200語から約600語までの英文を読む訓練が積めるように構成しています。</li> </ul>
ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●紙面上の二次元コードを通じてアクセスするウェブサイト「まなびリンク」を設け、音声やワークシートなどの良質なデジタルコンテンツを教室での協働学習・個別学習だけでなく、家庭学習でも活用できるようにしました。二次元コードを利用できない場合は、p.1に掲載しているURLからアクセスすることができます。</li> <li>●学習者用デジタル教科書において、教科書本文のネイティブ音声（速度調整可）を、文字をハイライト表示しながら聞くことができるようにするなど、学習への意欲を高め、学びを活性化し、確かなものにするように配慮しています。</li> </ul>



3. 組織・配列・正確性																		
内容の組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Lessonの冒頭に「単元の目標」を示し、「外国語を使って何ができるようになるか」を明確にし、Lesson末のTaskで単元の目標に関連したやり取りや作文、発表をする構成にしています。学習の見通しを立て、コミュニケーションの目的を意識しつつ、Lesson内の各活動を進めていけるように工夫しています。</li> <li>● Lessonは、扉ページで話題・題材への興味・関心を誘い、Part 1, 2 (短めの本文と「聞く」「話す／書く」活動を通して、特に重要な基本文の理解と定着を図る)と、Part 3 (長めの本文を「読む」活動と「聞く」活動を通して、より深い学習と発信力の伸長を図る)、Task (本文の内容理解確認の活動と、技能統合的な活動)、Grammar (文構造、文法事項のまとめ) で構成しています。</li> <li>● Lesson間には5領域に関わるさまざまなTipsやUseful Expressions等が配置されており、統合的な活動を年3回行うProjectも併せて、5領域の力をバランスよく伸ばし、基礎から実践的な活動まで行うことができるように構成しています。</li> <li>● 帯活動などで活用することで既習言語材料の定着を図るActivities Plusを設け、既習の言語材料を使って表現することができるQ&amp;Aを10題ずつ配置し、ペア・ワークなどを通して「話すこと [やり取り]」を取り入れる機会を豊富に設けています。</li> </ul>																	
言語材料の組織・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 文構造・文法は、関連のあるものを同じLessonや連続したLessonで扱うなど、バランスよく配列しています。小学校で学んだ事項はLesson 3までに触れる機会を設け、小学校での学習を定着させたくうえで、中学校での新出事項にスムーズに移行していけるように配列しています。</li> <li>● 音声事項については、本文脚注に整理され、語と語の連結による音変化、文中の強勢・イントネーションなどについて適切に取り上げています。</li> </ul>																	
付録・補充資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「語形変化のまとめ」、「形容詞・副詞比較変化表」(2年・3年)、「不規則動詞変化表」、「重要構文復習リスト」、「Think &amp; Try! 活動例」、「分野別用語集」(1年・2年)、「Word List」、「つづりと発音」、「Can-Do 自己チェックリスト」を掲載しています。</li> </ul>																	
4. 分量																		
扱う語数	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語彙は、小中学校の教科書で頻出のものやCEFR-Jの語彙リストのA1レベルを中心に選定しています。小学校で既習扱いとした語を<b>600語</b>と設定し、それに加えて中学校の新出語約<b>1,700語</b>を加えた約2,300語を扱っています。</li> <li>● 上記約2,300語のうち、小学校既習語から435語、中学校新出語から465語の<b>合計900語</b>を「<b>発信語</b>」と設定し、側注Words &amp; Phrasesや巻末Word Listでは太字で示しています。</li> <li>● 中学校の新出語は、教科書本文だけでなく、本文以外の部分でも扱うことで、学習時の負担を軽減しています。(Tool Kit、Task、Useful Expressionsなど)</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">小学校の既習語</th> <th style="width: 25%;">中学校の新出語</th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">600語</td> <td style="text-align: center;">約1,700語 (1,688語)</td> <td style="text-align: center;">本文 1,459語</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">1年552語、2年635語、3年501語</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">本文以外229語</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">そのうち発信語435語</td> <td style="text-align: center;">そのうち発信語465語</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			小学校の既習語	中学校の新出語			600語	約1,700語 (1,688語)	本文 1,459語	1年552語、2年635語、3年501語			本文以外229語	そのうち発信語435語	そのうち発信語465語		
小学校の既習語	中学校の新出語																	
600語	約1,700語 (1,688語)	本文 1,459語	1年552語、2年635語、3年501語															
		本文以外229語																
そのうち発信語435語	そのうち発信語465語																	
各内容の分量の配分	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各学年とも7～9つのLessonと、新出の文構造・文法事項が登場しないReading, Further Readingから成っています。各コーナーの活動も精選されており、適切な分量を配分しています。</li> </ul>																	
全体の分量、指導時数	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 指導時数の目安は、思考力・判断力・表現力を育成する言語活動の時間を考慮したうえで、1年109時間、2年109時間、3年106時間となっており、<b>年間指導時数内で余裕をもって指導できます。</b></li> </ul>																	
5. コミュニケーション																		
言語の使用場面・働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各Lessonなどにおいて、<b>Goalや指示文で「言語の働き」と「言語の使用場面」</b>を明確に示しており、また多様な働きと場面を扱っています。活動を通して、実際のコミュニケーションにおける言語材料の意味や適切な使用場面が体験的に理解でき、生徒の「<b>思考力・判断力・表現力</b>」の育成に資するように配慮しています。</li> </ul>																	
4技能・5領域のバランスや統合	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「<b>Can-Do 自己チェックリスト</b>」において、5つの領域での1年間の学習目標を明確に示し、年度末時点での到達度を自己評価することができるように整理しています。</li> </ul>																	
ペア・ワーク、グループ・ワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>Activities Plus</b>では、既習の言語材料を用いてさまざまな話題における応答例を示しているほか、<b>GrammarページのLet's Use</b>は、学んだ文構造や文法事項を含む対話文等を自由に入れ替えて展開できる仕組みで、ペア・ワークによる口頭練習に継続的に取り組めるよう工夫しています。</li> <li>● <b>Project</b>には、グループ・ワークで効果的に取り組むことができる活動を多く取り入れています。</li> </ul>																	
6. 造本・印刷／取り組み・教育配慮																		
挿絵・図版・写真等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 挿絵・図版・写真は、生徒の学習意欲を高めるもの、文章の理解を助ける資料性の高いものや、作品世界を活かし、生徒の想像力を高めるイメージ豊かなものを掲載しています。また、学習活動の手順や留意点をわかりやすく示したものの、学習上必要なものを適所に上げています。</li> </ul>																	
活字の書体、4線等の扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>手書き文字に近く判読しやすいフォント</b>を開発し、Springboard、1年Lesson 3までの本文、Task、Tipsで扱っています。また、全学年のアイコン等は判読しやすいフォントで示されているので、安心して各ページの学習に取り組むことができます。</li> </ul>																	
造本・印刷	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製本は網代綴じで、開本しやすく、堅牢です。美しいカラー印刷で、文字は鮮明です。</li> </ul>																	
SDGsへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現代社会の問題を自らの課題と考えられる生徒を育てるように、<b>SDGsに関わる題材</b>を多く取り入れ、専門家による校閲を受け、英語を学びながらSDGsに通じる見方・考え方を養えるようにしています。</li> </ul>																	
ユニバーサル・デザイン、人権教育・特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特別支援についての専門家による校閲を受け、紙面上のさまざまなアイコン、イラスト、図表などの判読・理解において、色覚特性による影響が生じないように配慮しています。<b>すべての学習者にとって見やすくわかりやすい配色</b>が施されており、<b>CUDO (NPO法人カラーユニバーサル機構) による認証マーク</b>を取得しています。</li> <li>● <b>人権的配慮</b>についても専門家による校閲を受け、多様な視点から配慮しています。</li> </ul>																	

## 2. 対照表

### 【第1学年】

※言語活動 L：聞くこと R：読むこと SI：話すこと(やり取り) SP：話すこと(発表) W：書くこと

図書の構成・内容	学習指導要領の内容				該当頁	配当 時数
	主な言語材料等	言語活動	言語の働き			
			場面	働き		
Welcome to ONE WORLD English Course	学ぶことへの動機づけ				前見返し	1
Classroom English			ア	ア、イ、オ	4～5	
Springboard 1～6	(小学校既習語句・表現の丁寧なふり返し) アルファベット大文字・小文字、文字と音のつながり、 季節、日付(月名、31までの序数)、曜日、教科名	L, R, SI, W	ア、イ	ア、イ、ウ、オ	6～17	9
ローマ字表＋英語の書き方のルール/ 辞書の使い方/How to Study		W			18～20	—
Lesson 1: Hello, New Friends	be動詞/一般動詞/canの文	L, R, SI, SP, W	ア、イ	ア、イ、ウ、オ	21～32	8
Lesson 2: Talking with Friends	Can you ~? / What[When, Who] ~? / What sport ~? / Is it ~?	L, R, SI, SP, W	ア	ア、イ、ウ、オ	33～44	8
Activities Plus 1	Lesson 2までの言語材料でのQ&A	SI		ア、イ、ウ、エ、オ	45	帯
Tips for Speaking ①	Activities Plusの効果的な活用のしかた	SI		イ、ウ、エ、オ	46	1
Lesson 3: Club Activities	一般動詞の過去形、be動詞の過去形	L, R, SI, SP, W	ア、イ	ア、イ、ウ、オ	47～57	8
Tips for Writing ①	英文日記を書くコツ	W	イ	ウ	58	1
Lesson 4: My Favorite Things	三人称単数現在形、How many ~?, some/any	L, R, SI, SP, W	ア、イ	ア、イ、ウ、オ	59～69	8
Project 1: My Favorite Person	お気に入りの人物紹介活動 参考資料：お気に入りの人物の紹介例	L, R, SI, SP, W	ア、イ	ア、イ、ウ、オ	70～73	2
Activities Plus 2	Lesson 4までの言語材料でのQ&A	SI		ア、イ、ウ、エ、オ	74	帯
Tips for Speaking ②	質問に合った答え方を考えるコツ	SI		ウ、オ	75	1
Sing Along ①	Hello, Goodbye	L			76	—
Lesson 5: School Life in Two Countries	現在進行形	L, R, SI, SP, W	ア	ア、イ、ウ、オ	77～85	7
Tips for Listening ①	情報を聞き取るコツ	L	ア	ア、ウ、オ	86	1
Lesson 6: Lunch in Chinatown	Which[Why, Whose] ~?、人称代名詞目的格	L, R, SI, SP, W	ア	ア、イ、ウ、エ、オ	87～95	7
Tips for Reading ①	代名詞を的確にとらえるコツ	R		ウ	96	1
Useful Expressions ①	校舎案内	R, SI, W	ア、イ	ア、イ、ウ、オ	97	1
Tips for Reading ②	自分が必要な情報を見つけるコツ	R	ア、イ	ウ	98	1
Lesson 7: Symbols and Signs	should, have to, don't have to, Can I ~?, Can you ~?	L, R, SI, SP, W	ア、イ	ア、イ、ウ、エ、オ	99～107	7
Activities Plus 3	Lesson 7までの言語材料でのQ&A	SI		ア、イ、ウ、エ、オ	108	帯
Tips for Speaking ③	応答のパターンの増やし方(Activities Plusの活用)	SI		ウ、オ	109	1
Project 2: My Original Sign	オリジナルの標識を考えて発表する	L, R, SP, W	ア	ウ	110～111	2
Reading 1: Fox and Tiger	物語の概要を理解する	R		ア、イ、ウ、エ、オ	112～115	4
Tips for Reading ③	案内や招待の要点をとらえるコツ	R	ア、イ	ア、イ、ウ、エ、オ	116	1
Lesson 8: Holiday in Hokkaido	be going to / will / 感嘆文	L, R, SI, SP, W	ア	ア、イ、ウ、エ、オ	117～125	7
Sing Along ②	Jewelry Ice Love	L			126	—
Tips for Listening ②	メッセージの概要と要点をとらえるコツ	L, SI	ア、イ	ア、イ、ウ、エ、オ	127	1
Tips for Writing ②	英文メールを書くコツ	W	ア、イ	ア、イ、ウ、エ、オ	128	1
Lesson 9: A Better World for Everybody	look + 形容詞 / there 構文	L, R, SI, SP, W	ア	ア、イ、ウ、エ、オ	129～137	7
前置詞のまとめ	場所、時を表す語	L, R, SI	ア	ア、ウ、オ	138	1
Useful Expressions ②	体調不良	R, SI	ア、イ	ア、イ、ウ、エ、オ	139	1
Activities Plus 4	Lesson 9までの言語材料でのQ&A	SI		ア、イ、ウ、エ、オ	140	帯
Tips for Speaking ④	応答から会話を広げるコツ	SI		ア、イ、ウ、オ	141	1
Project 3: Take Action for a Better World	SDGsについて調べ、自分にできることを考えて表現する	L, SI, SP, W	ア	ウ、エ	142～143	2
Reading 2: An Old Woman and a Dog	物語文を、次に起きることを予想しながら読む	R	ア	ア、イ、ウ、エ、オ	144～147	4
Further Reading: The Golden Dipper	物語文の概要を理解する	R		ウ	148～151	4
効果的な英語学習法/語形変化のまとめ/ 不規則動詞変化表/重要構文復習リスト/ Think & Try!活動例/分野別用語集/ Word List					152～176	
つづりと発音/Can-Do自己チェックリ スト					後見返し	